CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　I使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)横須賀市夏島町物流施設計画	階数	地上2階
建設地	横須賀市夏島町18番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定区域	平均居住人員	150　人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,920　時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月　　予定	評価の実施日	2026年6月22日
敷地面積	22,755 ㎡	作成者	東洋建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	14,219 ㎡	確認日	2026年6月30日
延床面積	14,491 ㎡	確認者	東洋建設株式会社一級建築士事務所

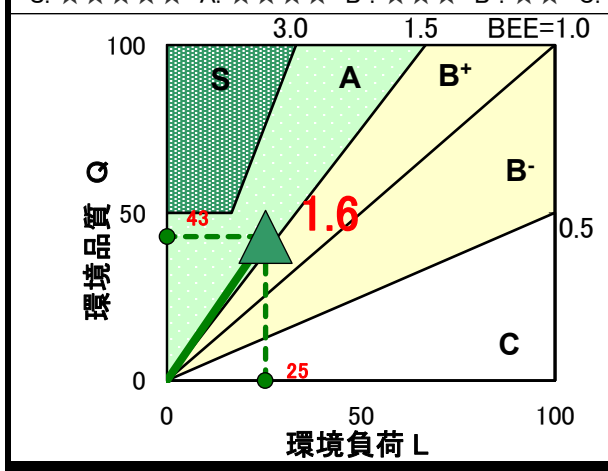
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

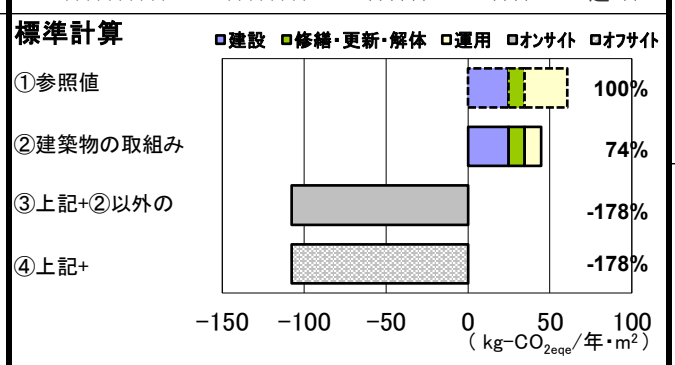
BEE =1.6

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



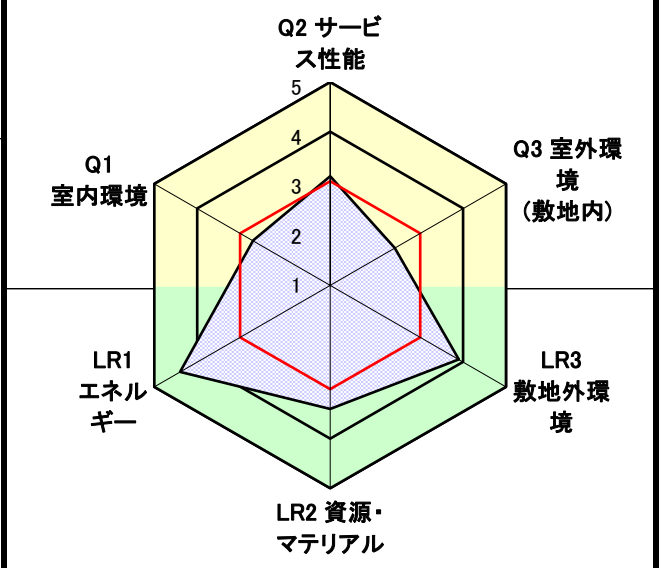
2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

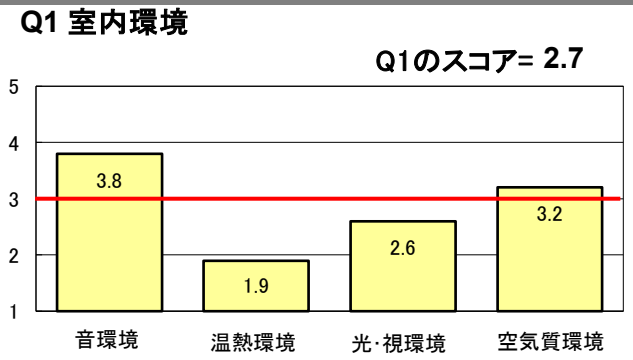
2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)



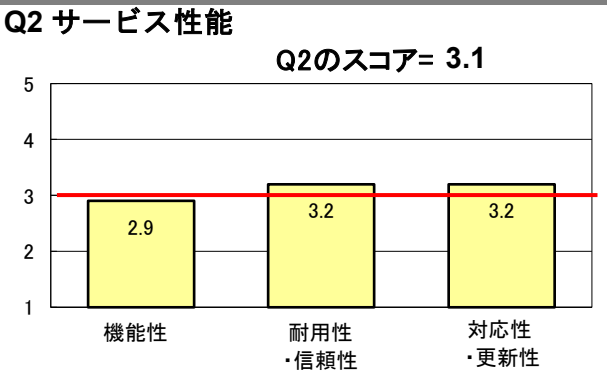
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.7

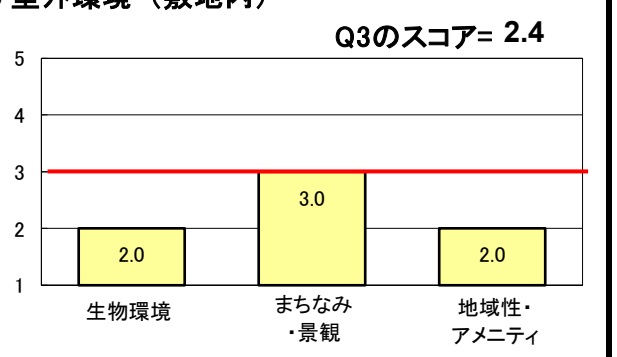
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.7



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

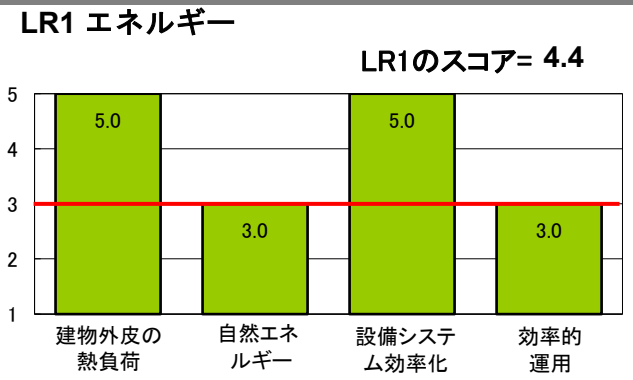


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.4

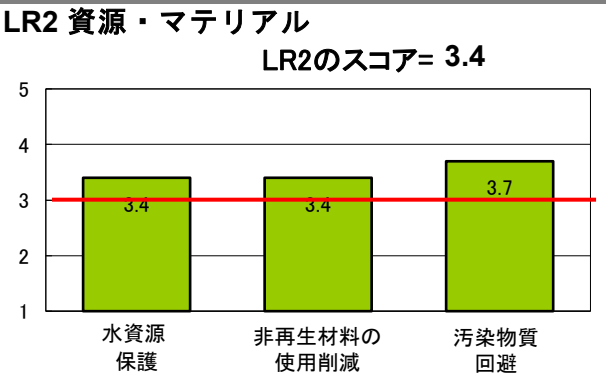


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.9

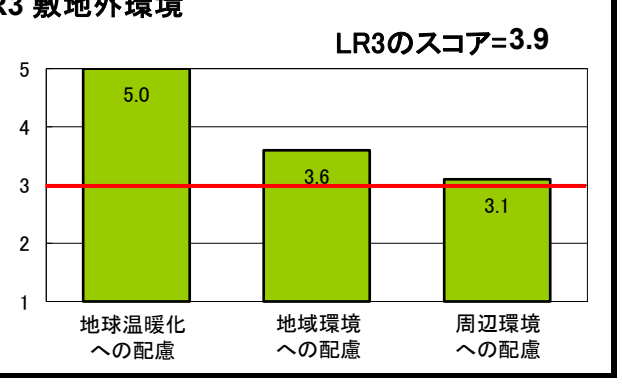
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.4



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.9



3 設計上の配慮事項

総合	その他
高い外皮性能を確保し、省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。 高効率設備を採用し省エネルギー性能に配慮するとともに、利用者の快適性向上に努めている。	-

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
界壁遮音性能を十分に確保し、音環境の向上に努めた。 室に適した建具を採用し、光・視環境、空気室環境に配慮。	リフレッシュスペースや天井高さを十分に確保し、心理性・快適性に配慮。 外壁や給排水配管に長寿命材を採用し耐用性に配慮。	可能な限り緑化に努め、周辺のまちなみや風景に調和するように配慮。

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性の高い材の採用と高効率設備の導入により、環境負荷低減に配慮。	建物の節水性に配慮。 ノンフロン断熱材を使用し、汚染物質含有材料の使用回避を行った。	消費エネルギー量削減により運用時のWLC排出量低減に配慮。 充実した駐車駐輪施設の計画に加え、敷地周辺への交通負荷抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される